

学習指導略案

手しごと工房 担当 佐橋、後藤、磯谷

指導の形態		職業	日時	令和6年10月23日(水) 3、4校時
単元(題材)名		たまねぎ染めをしよう	場所	調理室
目 標	知・技	・道具を正しく使い作業することができる。	使 用 教 材	作業日誌、筆記用具、 作業着(上) 鍋、トング、菜箸、ボウル
	思・判・表	・教師の話聞き、手本を見て丁寧に取り組むことができる。		
	学・人	・主体的に活動に取り組むことができる。		
時間	学 習 活 動 ・ 展 開			留 意 事 項
10:05	1 はじめの挨拶 活動内容の確認			作業服の上を着て、調理室へ集合する。 生徒の実態に応じて支援する。
10:10	2 作業開始 ① 模様付けをした布巾を玉ねぎ抽出液に浸け込む。 ・布巾に均等に玉ねぎ抽出液が浸かるように5分交代で混ぜる。 ・空いている時間は、次回染める布の模様付けや日誌の記入を行う。 ② 布巾をミョウバン液に浸ける。 ・布巾に均等にミョウバン液が浸かるように5分交代で混ぜる。 ・次回の模様付けが終わった生徒は布巾縫いに取り組む。 ・前回までに染めた布にアイロンを掛ける。 ③ 水で洗ったあと、輪ゴムなどを外し、模様を確認する。 ・ゴミとビー玉を分ける。			
11:20	3 後片付け ・道具を所定の場所へ置く ・日誌を記入し、教師と一緒に振り返る。			
11:25	4 次時の予告 終わりのあいさつ			
評価	知・技 思・判・表 主体的に	・本時の目標を達成できたか。		

令和6年度 2.3学年 「職業」手しごと工房 年間指導計画

担当:佐橋、後藤

1 目 標

知識・技能	作業を継続的に行い、職業生活において必要な能力と実践的な態度を養う。
思考・判断・表現	他者と協力・協働し、達成感や充実感を味わい、働くことの喜びを育む。
学びに向かう力、人間性	ルールやマナーを守り、円滑な人間関係を育む。

2 指導内容

月日	単元(題材)名	目標	学習内容	備考
4	オリエンテーション グループオリエンテーション	・一緒に活動するメンバーを知る。	・自己紹介をする。 ・作業の約束を知る。 ・作業内容や学習活動を知る。 ・個人目標を考える。	実態把握
4月～	手芸 ・ティッシュケース ・基本の縫い方(返し縫い) 農作業 (除草、畑関係)	・針と糸の扱い方を知る。 ・縫い方の基本を知る。(並縫い、返し縫い含む) ・職業での必要な力を理解する。 ・協力して作業する。 ・畑に肥料を入れて混ぜる。 ・農作業の播種、定植、除草、灌水をする。 ・指示された作業をすすめる。 ・グラウンドの除草をする。 畑の作業をする。	・糸と針の扱い方を覚え、基本の縫い方で縫う。(並縫い、返し縫い含む) ・職業での必要な力や、約束を意識して活動する。 ・畑の作業で基本的な動作を覚える。 ・用具や道具の扱いに慣れる。 ・自分に必要な力が何かを知る。 ・自己評価をして、教師の評価も受け入れることができる。	実態把握
5/20	働くために 「働く姿を知ろう」 「ビジネスマナー」	・卒業生の働く姿をイメージする。 ・言葉遣いなどのマナーを確認する。	・働く姿を映像で見る。 ・挨拶や丁寧な言葉遣いを確認し、実践する。	
5/24	終日作業事前学習 4校時	終日作業の見通しを持つ。	・終日作業の日程を知る。 ・目標を考える。	
5/27～ 5/28	終日作業 ・ふきん ・農業	・時間いっぱい取り組む。 ・作業の内容を自己評価する。(最終日の午後) ・仕事と報酬のつながりを体感する。	・仕事に必要な力について考え、目標を決める。 ・仕事と報酬のつながりを体感させる。 →ジュースを購入(出勤簿全てに○がついたら) ・振り返りを発表する。	
6月～	手芸 ・基本の縫い方 ・さしこ(布巾、鍋敷き) ・エプロン ・外作業(畑作業、グラウンド整備)	・針と糸の扱い方を習得する。 ・縫い方の基本を習得する。(並縫い、返し縫い、玉結び、玉留め含む) ・制作するものを知る。 ・職業での必要な力を理解する。 ・協力して作業する。 ・畑に肥料を入れて混ぜる。 ・農作物の播種、定植、除草、灌水をする。 ・指示された作業をすすめる。 ・グラウンドの除草をする。 畑の作業をする。	・針と糸の扱い方を覚え、基本の縫い方で縫う。(並縫い、返し縫い、玉結び、玉留め含む) ・売り物として、丁寧に制作することを意識する。 ・職業での必要な力や、約束を意識して活動する。 ・畑の作業で基本的な動作を覚える。 ・用具や道具の扱いに慣れる。 ・自分に必要な力が何かを知る。 ・自己評価をして、教師の評価を受け入れることができる。	
7月～	・ほしみ祭製品素地づくり ・さしこ(布巾、鍋敷き) ・エプロン	・針と糸の扱い方を習得する。 ・縫い方の基本を習得する。(並縫い、返し縫い、玉結び、玉留め含む) ・制作するものを知る。 ・職業での必要な力を理解する。	・針と糸の扱い方を覚え、基本の縫い方で縫う。(並縫い、返し縫い、玉結び、玉留めを含む) ・販売する製品を作る意識で取り組ませる。 ・職業での必要な力や、約束を意識して活動する。	

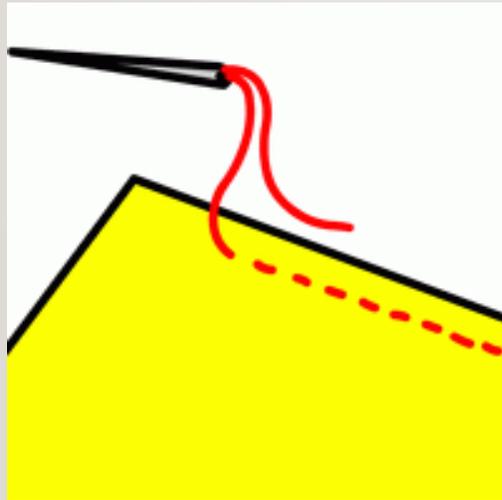
	<ul style="list-style-type: none"> ・外作業（畑作業、グラウンド整備） ・学期末清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して作業する。 ・昨年度の製品を見て、今年度はどの製品を製作するか決める。 ・畑に肥料を入れて混ぜる。 ・農作物の播種、定植、除草、灌水をする。 ・グラウンドの除草をする。 ・畑の作業をする。 ・農作物の除草、灌水、落ち葉拾い、グラウンド整備を行う。 ・学期末清掃をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の作業で基本的な動作を覚える。 ・用具や道具の扱いに慣れる。 ・自分に必要な力が何かを知る。 ・自己評価をして、教師の評価を行け入れることができる。 ・個人の目標を意識して丁寧に製作する。最後まで話を聞く。 ・時間いっぱい活動する。 ・困ったときに助けを求められることができる。 ・言葉遣いに気をつける ・自分の役割に責任を持って活動する。 ・報告をする。 ・指示されたことを素直に受け入れる等 	
9月～	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしみ祭に向けて（製品作り） ・コースター ・エプロン ・クリスマススペトリー ・ニードルパンチ ・布巾（染め） ・畑作業（灌水、除草） ・収穫・畑の片付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしみ祭で販売するものを製作する。 ・基本の縫い方を意識して活動する。 ・職業での必要な力を意識する。 ・協力して作業する。 ・販売する製品を製作する。 ・グラウンドの除草をする。 ・畑の作業をする。 ・農作物の除草、灌水、落ち葉拾い、グラウンド整備を行う。 ・学期末清掃をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売する製品を作る意識で取り組ませる。（コースター） ・販売する製品を作る意識で取り組ませる。 ・職業での必要な力や、約束を意識して活動する。 ・畑の作業で基本的な動作を覚える。 ・自分に必要な力が何かを知る。 ・自己評価をして、教師の評価を受け入れることができる。 ・個人の目標を意識して丁寧に制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 9/25～9/26 宿泊研修 9/27 休業日（2年） ※ 10/8～10/10 見学旅行 10/11 休業日（3年）
11/5～ 特別日課	ほしみ祭に向けて 販売、実演、展示	<ul style="list-style-type: none"> ・特別日課の日程を知る。 ・自分の役割を理解して活動する。 ・自分の役割に責任を持って取り組む。 ・協力して活動する。 ・掲示物等を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしみ祭までの日程を知り、締め切りを意識して活動する。 ・グループで協力して作業する。 	<ul style="list-style-type: none"> 11/15 ほしみ祭 11/16 ほしみ祭 11/19 ほしみ祭片付け
11/20	ほしみ祭の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしみ祭の振り返りを行う。 ・持ち帰り製品の製作。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標→評価をして、次回からの作業に生かす。 ・丁寧に製作する。 ・片付けをする。 	
12/6	働くために 「自分を見つめ直そう」	・進路コーディネーターからの話を聞く。	・進路コーディネーターの話を聞いて、進路を意識する。	
12/13	働くために 「終日作業について」	・終日作業の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・終日作業の日程を日程を知る。 ・目標を考える。 	
12/16～ 12/17	終日作業 ・鍋敷き ・クリスマススペトリー	<ul style="list-style-type: none"> ・時間いっぱい取り組む。 ・作業の内容を自己評価する。（最終日の午後） ・仕事と報酬の繋がりを体感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に必要な力について考え、目標を決める。 ・仕事と報酬のつながりを体感させる。→ジュースを購入（出勤簿全てに○がついたら） ・振り返り発表をする。 	
12月～	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り製品の製作、仕上げ ・自分の目標を再確認して作業に取り組む ・クリスマススペトリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り製品の製作、仕上げをする。 ・職業での必要な力を意識する。 ・協力して作業する。 ・学期末清掃をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縫い方の基本を意識して作業する。 ・販売する製品を作る意識で取り組む。 ・職業での必要な力や、約束を意識して活動する。 ・用具や道具の扱いに慣れる。 ・自分に必要な力が何かを知る。 ・自己評価をして、教師の評価を受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生は進路先の作業種やねらいを意識して取り組む（2/ まで） ※3/3卒業式

	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作(クッションカバーorバッグ) ・胸花づくり(2年) ・クッションカバーorバッグ (3月半ばまで)		<p>ことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の目標を意識して丁寧に製作する。 ・製作した作品をラッピングしたり、まとめる。 (ワークデザインコースの持ち帰り作品は) (手しごと工房の持ち帰り作品は、)	
3/12~ 3/13	1.2年合同作業	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は体験する。 ・2年生は、落ち着いて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて、1年生と一緒に落ち着いて取り組む。 (を製作予定)	
3/14~	学期末清掃 まとめ 進級に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・作業室の整理整頓 ・1年間を振り返り、成果や来年度に向けて課題をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り自分で振り返る。 ・来年度に向けて意識することをまとめる。 	
備考				

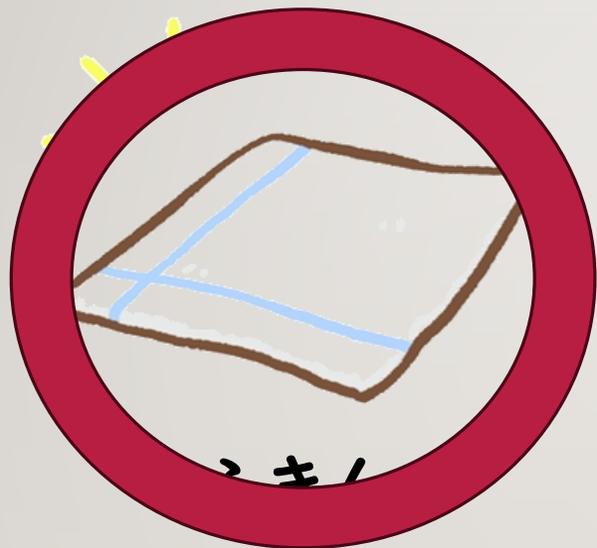
たまねぎ染めをしよう



さぎょう つく つか そ
作業で作っているものを使って染めます!!



そ
どれを、染めるでしょうか？



エプロン



エプロン

そ ざいりょう
染める材料は・・・

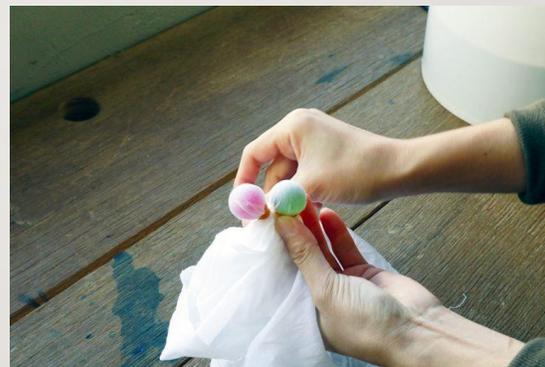
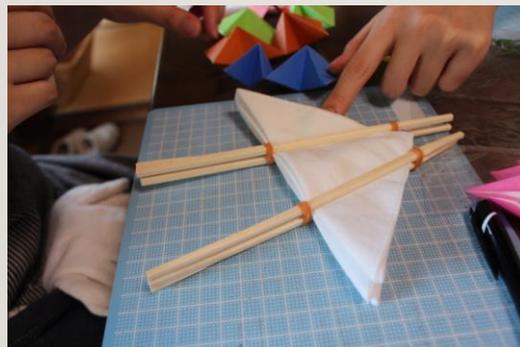
がっこうきゅうしょく で
学校給食で出る、
かわ
たまねぎの皮です。

かわ つか
たまねぎの皮を使います



そ かた 染め方

わ つか もよう
①輪ゴムなどを使って、ふきんに模様をつける。

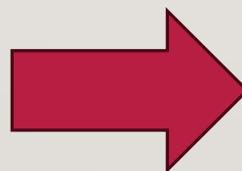
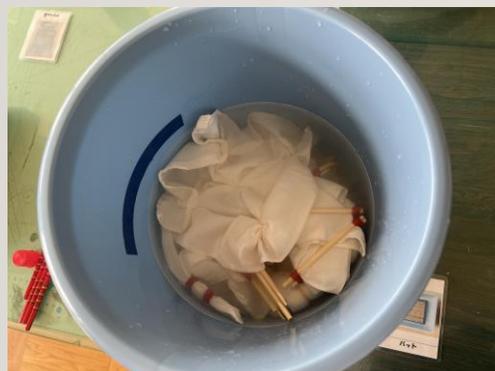


そ かた
染め方

たま に じる ひた
②玉ねぎの煮だし汁に浸す。

ゆ ふんほど ひた
※ぬるま湯につけてから30分程浸す。

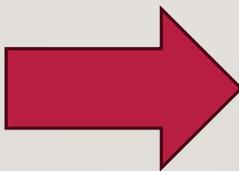
はじ ふんほど さいばし
初めの10分程は菜箸でゆっくりませる。



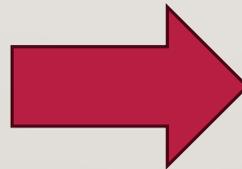
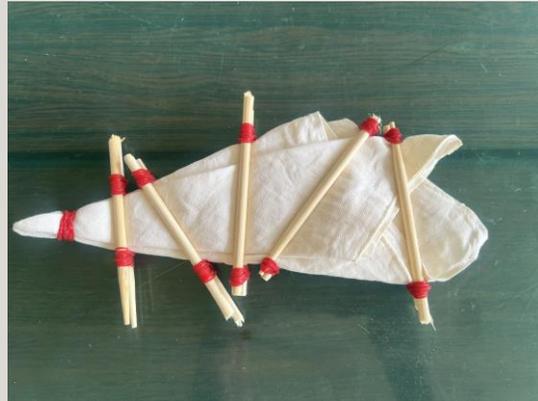
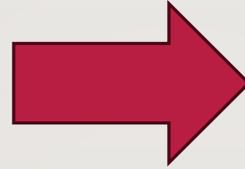
そ かた
染め方

たま に じる だ あら
③ 玉ねぎの煮だし汁から出し、かるく洗ったあと
えき ふん した
ミョウバン液に30分浸す。

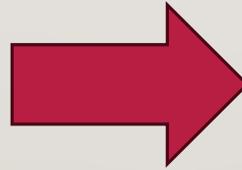
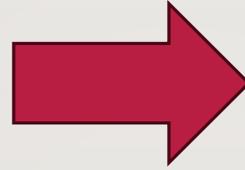
かんせい
完成!!



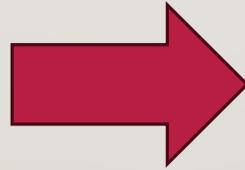
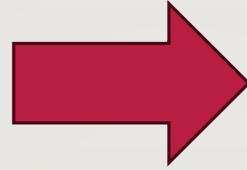
もよう つ かた みほん
☆模様の付け方の見本☆



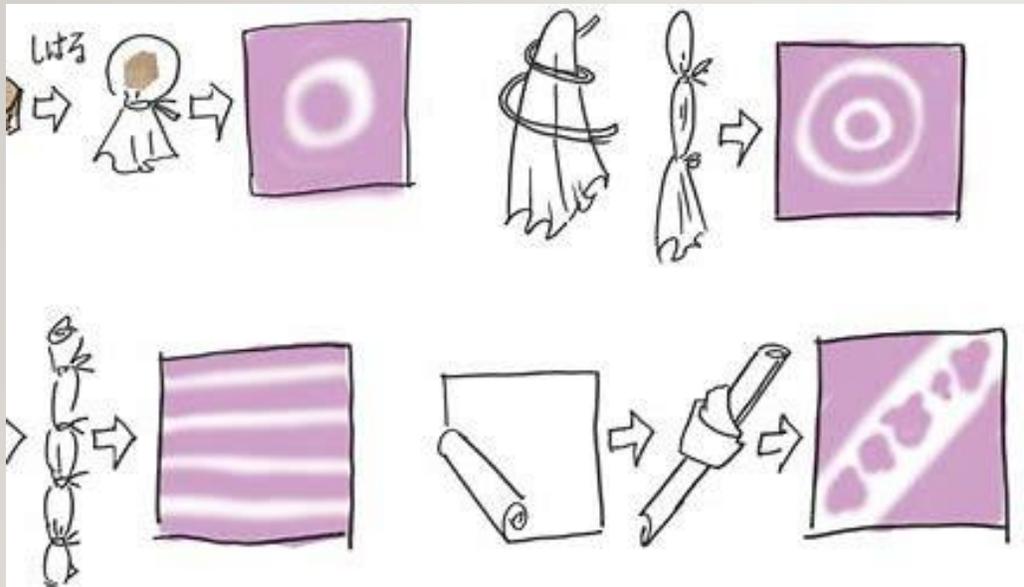
もよう つ かた みほん
☆模様の付け方の見本☆



もよう つ かた みほん
☆模様の付け方の見本☆



じっさい つく
実際に作ってみよう



e-plan 3

高等部 2年「生活単元学習」学習指導略案

令和6年 8月 27日

単元名/題材名「見学旅行」

学習名	① 見学旅行オリエンテーション	指導日時	令和6年10月8日(火)3校時
授業者	松井 他2年生所属教員	指導場所	2年2組教室
対象児童生徒	高等部2年生全生徒		
本時の目標 (知識・技能) (思・判・表等) (主体的に取り組む態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・見学旅行の期日、内容を知ることができる。(知・技) ・ルールや約束を確認することができる。(知・技) ・見学旅行までの学習内容を知ることができる(知・技) 		
学習活動 (時間配分)	児童生徒の活動	指導の手立て・留意点	教材・教具
10:20 集合	・2年2組に集合し、自分の椅子を用意して座る。	・必要に応じて支援する。	生徒用 iPad Applepencil 持参
始めの挨拶	・教師に指名された生徒が始めの挨拶を行う。	・希望者を募る。	
10:22 学習内容の説明	・本時から見学旅行についての学習を行うことを知る。	・Miro の画面を教室の TV に映し出す。	教師用 iPad テレビ
10:25 本時の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ① 旅行の期日、内容、メンバーを知る。 ② 見学旅行のねらいを知る。 ③ 今後の学習予定を知る。 ④ アンケートに答える。 		教師用 iPad テレビ
10:30 旅行の期日、内容、メンバー	TV 画面を見ながら旅行の期日、内容、メンバーを知る。	・問答しながら進める。	教師用 iPad テレビ
10:35 見学旅行の約束について	TV 画面を見ながら旅行中のねらいを知る。	・問答しながら進める。	教師用 iPad テレビ
10:40 今後の学習予定を知る。	TV 画面を見ながら今後の学習予定を知る。	・説明後、クラスの日直にクラス掲示用の学習予定表を渡す。	教師用 iPad テレビ クラス掲示用の学習予定表 廊下掲示用の学習予定表
10:45 アンケート回答	・見学旅行2日目のソラマチ散策、3日目のディズニーシーの行きたい場所を iPad で調べ、アンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用 iPad で、必要な情報を調べる。 ・生徒の iPad で、Miro を開き、applepencil を使用してアンケートに回答する。 	生徒用 iPad Applepencil アンケート用紙
11:05 終わりの挨拶	・教師に指名された生徒が終わりの挨拶を行う。	・希望者を指名する。	

高等部 2年 「生活単元学習」学習指導略案

令和6年 8月 27日

単元名/題材名「見学旅行」

学習名	② 「スローガン・個人目標・係を決めよう」	指導日時	令和6年 10月8日(火)5校時
授業者	松井、他2年生所属教員	指導場所	2年2組教室
対象児童生徒	高等部2年生全生徒		
本時の目標 (知識・技能) (思・判・表等) (主体的に取り組む態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・見学旅行の約束事を知る。(知・思・判) ・見学旅行の個人目標を考えることができる。(思・判・表) ・見学旅行のスローガンを考えることができる。(思・判・表) ・係活動の内容を確認し、係を選択することができる。(思・判・表) 		
学習活動 (時間配分)	児童生徒の活動	指導の手立て・留意点	教材・教具
13:15 集合	・2年2組教室に集合し、着席する。	・必要に応じて支援する。	各自 iPad、ApplePencil 持参
始めの挨拶	・教師に指名された生徒が始めの挨拶を行う。	・2組の日直を指名する。	
13:20 学習内容の説明	本時の活動内容を確認する。 ①約束事を確認しよう。 ②個人目標を考えよう。 ③スローガンを考えよう ④係活動の内容を知り、係を決めよう。	・Miro の画面を教室の TV に映し出す。 ・テレビに注目するよう言葉掛けする。	・iPad ・テレビ
13:25 約束事を確認	・TV 画面を見ながら、約束事を確認する。 ・見学旅行後に、自己評価することを知る。	・Miro 上に、個別のシートがあることを紹介する。	
13:30 個人目標を考える	・個人目標を考え、Miro に入力する。	・生徒の iPad で Miro を開き、iPad ペンシルを使用して入力したり、画像を選択したりする。	iPad ApplePencil
13:40 スローガン作り	・今年の3年生のスローガンを参考に、スローガンを考える。 ・Miro を使用し、各自でスローガンの案を考える。(5分程度) ※実態に応じて、選択肢の中から選んだり、キーワードを考えたりする。 ・案を組み合わせ、一つのスローガンにまとめる。	・今年の3年生のスローガンを提示し、スローガンのイメージをもたせる。 ・事前にいくつか教師がキーワードを準備する。 ・キーワードを ChatGPT に入力し、一つにまとめていく。 ※休み時間を利用して、スローガンの掲示物を作成する。	・今年の3年生のスローガン模造紙 ・テレビ ・ipad ・ApplePencil
13:55 係決め	・係の活動内容や役割を知り、どの係を行いたいのか考える。 ・希望する係を選び、自分の顔写真を Miro 上で移動させる。	・係の役割について説明する。 ・人数と調整し、係を決める。	・パソコン ・テレビ ・ホワイトボード ・顔写真
14:05 終わりの挨拶	・教師に指名された生徒が終わりの挨拶を行う。	・必要に応じて支援する。	

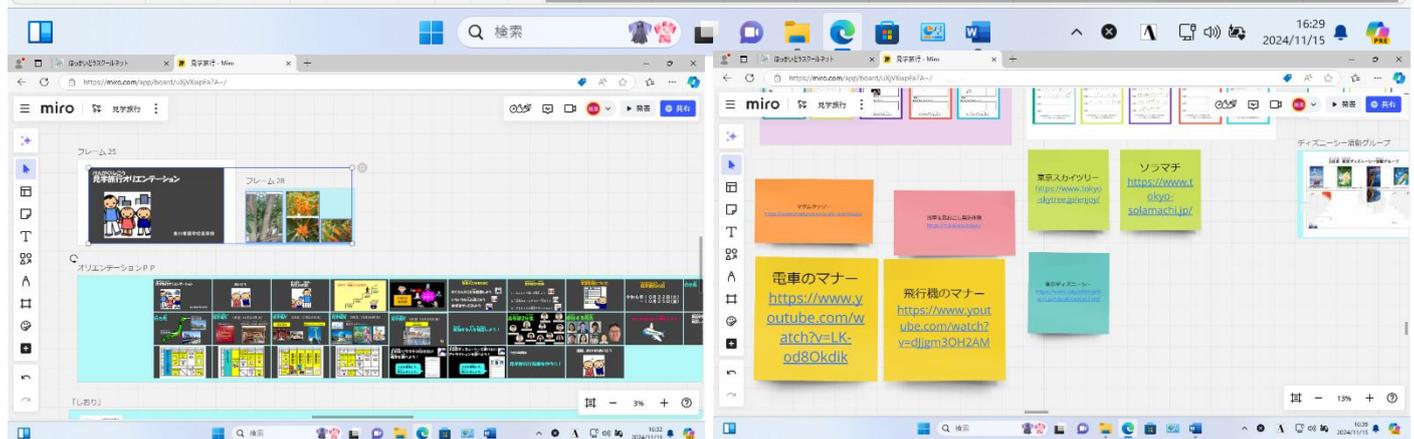
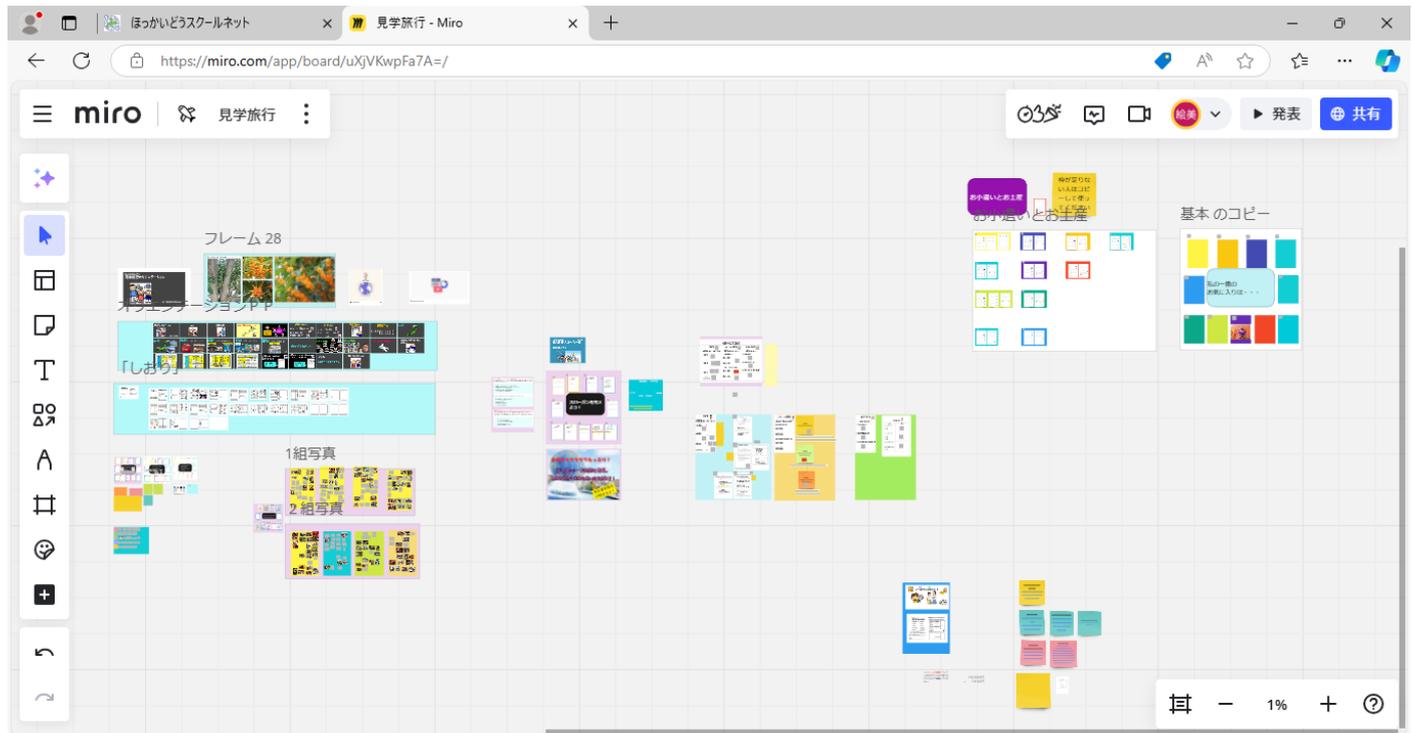
高等部2年生 「生活単元学習」学習指導略案

令和6年8月 27日

単元名/題材名「見学旅行」

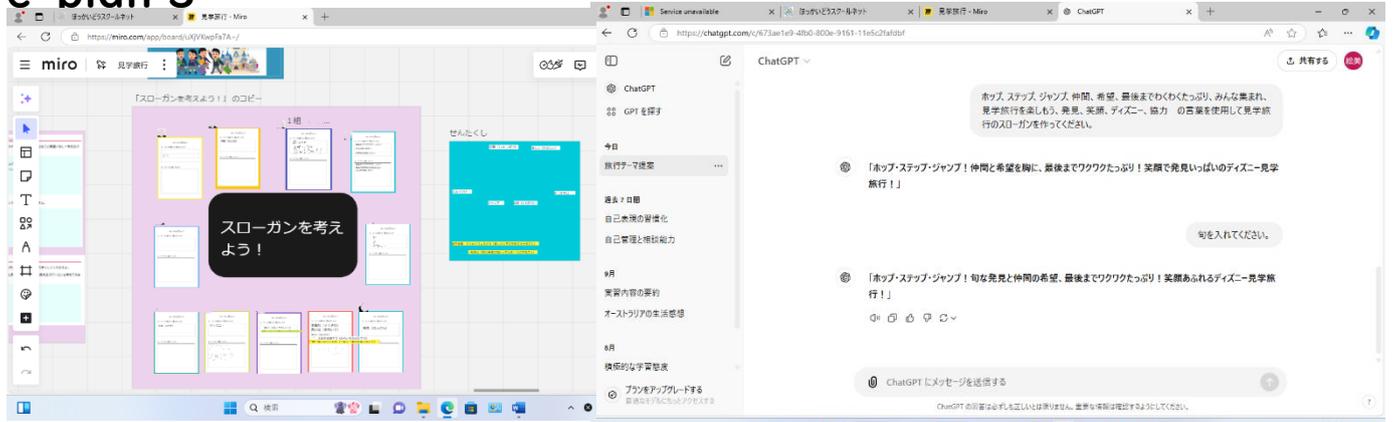
学習名	⑰見学旅行をふり返ろう	指導日時	令和6年10月 28日(月) 3、4校時
授業者	松井、2学年所属教員	指導場所	3年2組
対象生徒	高等部3年全生徒		
本時の目標 (知識・技能) (思・判・表等) (主体的に取り組む 態度)	【知・技】【思・判・表】 ・当日の VTR や写真を見て、旅行を振り返る。 ・ふり返り用紙に全体・個人目標や係活動について振り返る。 ・活動したことや感じたことをまとめる。 ・反省用紙にまとめたことを発表する。		
学習活動 (時間配分)	児童生徒の活動	指導の手立て・留意点	教材・教具
あいさつ 10:20	・2年2組教室に集合する。 ・ 教師に指名された生徒があいさつを行う。	・1組の日直を指名する。 ・姿勢を正すように促す。	・しおり ・教師用 iPad ・生徒用 iPad ・applepencil
学習内容の 説明	本時の学習内容を確認する。 ①見学旅行を思い出そう。 ②見学旅行の振り返りをしよう。 ③まとめたことを発表しよう。	・Miro を使用し、教室の TV に映し出す。 ・テレビに注目するよう言葉掛けする。	・テレビ
見学旅行を思 い出そう 10:25	・見学旅行の動画を視聴する。	・見学旅行の動画を見て振り返る。	
ふり返り用紙を 作成する。 11:00	・Miro を開き、約束事と個人目標の評価に入力する。 ・Miroを開き、見学旅行の思い出に、楽しかったことを入力する。 ※写真は、事前に担任がベストショットを選び、添付しておき、選べるようにする。	・しおりを確認しながら書くように伝える。 ・適宜、選択肢から選んだりできるように支援する。	・しおり ・生徒用 iPad ・applepencil
発表 11:20	・発表するときの約束を知る。 ・見学旅行の思い出を発表する。	・発表するときの約束を伝える。 ・1組から順番に一人ずつ指名する。	・ipad ・テレビ
まとめ 11:50	・本時の学習を振り返る。 ・今後の学習について知る。	・次回は、グループに分かれて見学先についてまとめることを伝える。 ・まとめたことを報告会で発表することを伝える。	・ipad ・テレビ
あいさつ 11:55	・教師に指名された生徒が終わりの挨拶を行う。	・1組の日直を指名する。 ・姿勢を正すように促す。	

e-plan 3

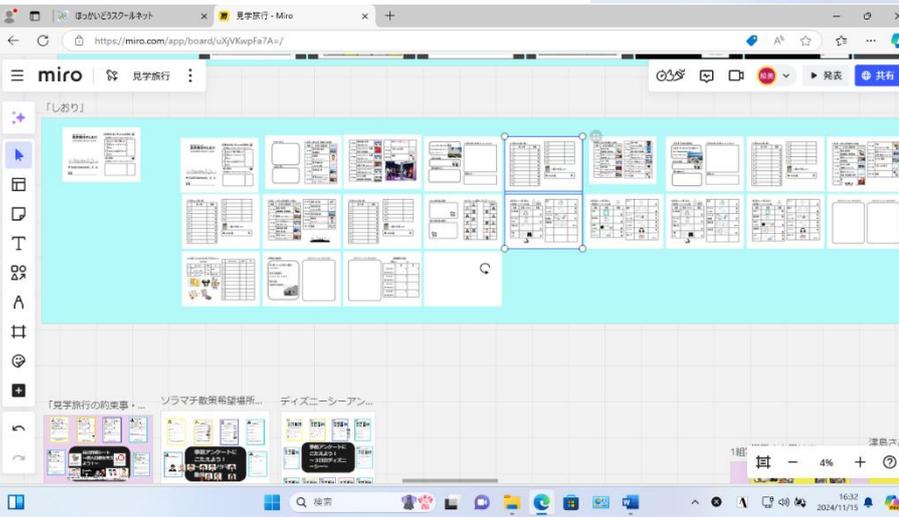


- ※Keynote や PowerPoint の資料を Miro 上に添付しておくことで、生徒への提示がスムーズだった。
- ※必要な資料となる URL を添付しておくことで、調べたいページにすぐにとぶことができたり、早く課題を終えた生徒が見ることができたりすることができた。
- ※目標決めやアンケートでは、画面上のイラストや文字を選んで回答することもでき、操作が簡単だった。

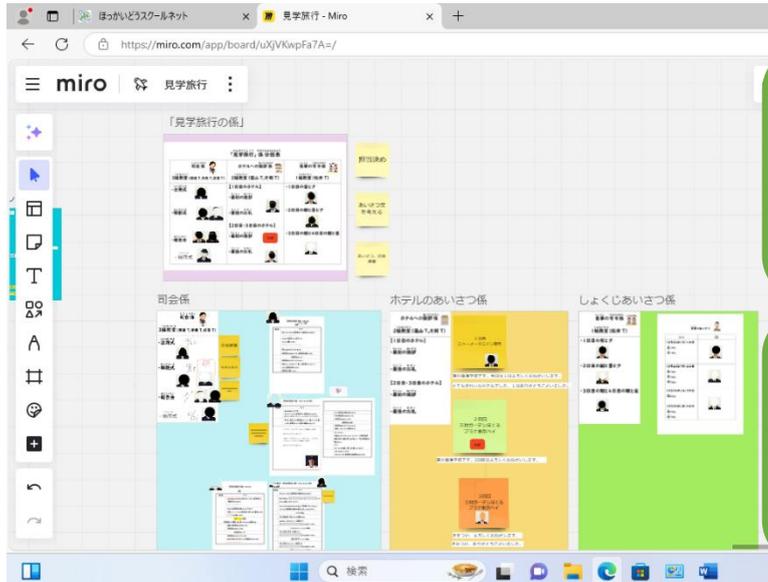
e-plan 3



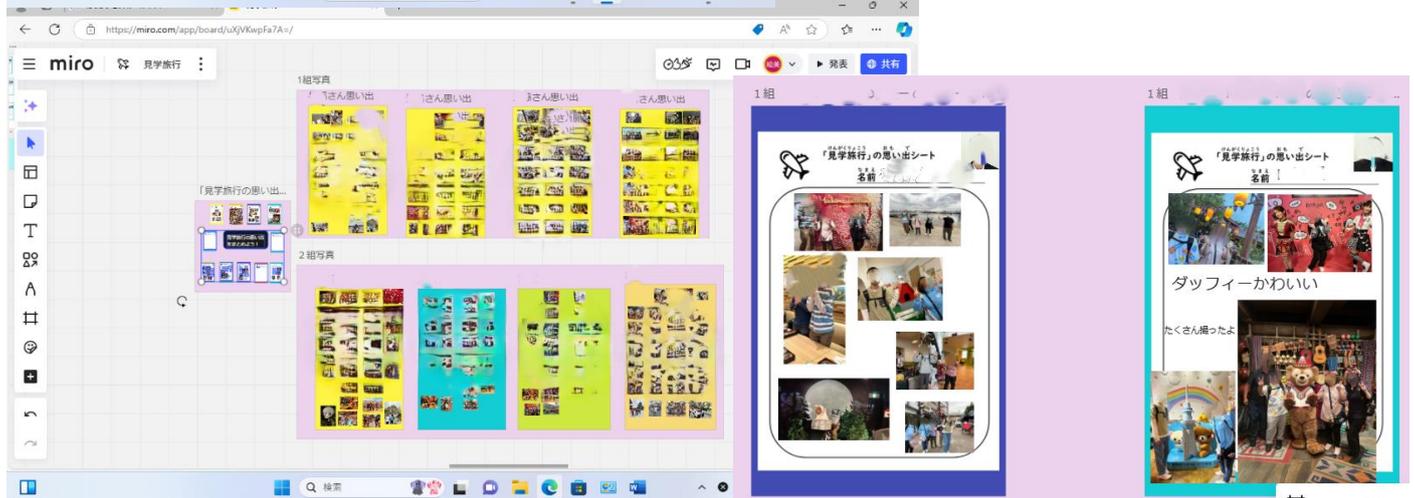
※スローガン決めでは、ChatGPT を使用し、生徒から出てきたキーワードを入力し、一つの文に瞬時にその場でまとめることができた。



※しおり作成では、記入事項をその場で入力しながら画面を拡大して見やすくすることができた。また、進捗によって、各自の iPad の活用もできた。※筆圧に課題のある生徒には、Apple ペンシルを使用して、データ上に直接入力することで対応できた。



※係決めでは、自分の顔写真を iPad 上で各自が動かし、希望する係の枠の中に移動させることができた。これまでは、一人ずつ前に出て聞いていくことが多かったが、前に出ることには抵抗のある生徒もいたため、効果的だった。



※見学旅行の思い出シート作成では、自分で写真を選び、シート上に移動させたり、文字を入力したりしてオリジナリティーを出すことができた。

e-plan 3

【Miro を使用する利点】

- ・操作が簡単。
- ・一つの端末で操作することができる。
- ・チームメンバーと共同編集ができる。
- ・Word、Excel、PP、Keynote、PDF、画像、動画、URL など、多種多様な形式のファイルを共有できる。
- ・作業スペースに制限がないため、作成したものを残せる。

【成果】

- ・単元を通して、Miro を使用することで、基本操作に慣れることができた。
- ・全ての時間の学習内容が、一つのボードに残るため、振り返りや次の授業への見通しが持ちやすく、授業につながりを持たせることができた。
 - ・リアルタイムで生徒全員の進捗状況が確認できた。また、生徒同士も他の友達がどんな考えを持っているのかなどを確認することができた。
 - ・調べ学習時では、必要な URL を添付しておくことで、どの生徒でもすぐに必要な情報を入手することができた。
 - ・PP、Keynote、Word といった多種多様な種類の形式の資料を Miro 上に添付しておくことで、生徒への提示の仕方に時間のロスがなくスムーズに進行することができた。
 - ・ボードを印刷することができるため、授業の記録としての掲示物作成もスムーズだった。
 - ・自ら調べたり選んだりすることができるため、「分かる・できる」授業となり、主体的にアウトプットする活動を多く取り入れることができた。

【課題と対応】

- ・授業の最初に、操作の方法や約束事を確認する時間を設定する必要があった。
- ・他の生徒の資料にいたずら書きをすることがあった。
 - 記入時間を定め、すき間時間を作らないようにした。必要な生徒には、記入時間以外は自分の iPad ではなく、教室の TV を見るようにし、iPad は使用する時以外は教師が預かるようにした。
- ・入力操作に慣れている生徒とそうでない生徒がいるため、待つ生徒への配慮が必要だった。
 - 調べる学習や創作する学習など、楽しみのある課題を用意しておくことで、やらされているという感覚が軽減され、自分から進んで学習することができる生徒が多かった。
- ・手元に集中する場面と全体で提示している TV 画面に集中する場面の切り替えができるような工夫が必要。
 - どこを見て学習するのかの指示を忘れずに入れる。また、授業の構成の際に、手元と TV 画面を見る順序や回数をシンプルなものにする。

高等部「 美術 」 単元計画

学習期間：10月17日～12月12日

学習集団：高等部全学年

担当者：A. Y. M.

1 単元名『 絵画名作鑑賞 』

2 単元設定の理由

・本学部生徒は8名。美術には興味を持ち、自由な発想で表現できる生徒と、キャラクター物を好み模写などを得意とする生徒、見ることはできるが模写をしたり想像して何かを表現したりすることが難しい生徒が混在している。身近な物や人、風景、季節、好きなキャラクターなどを扱った作品（立体・平面）について、現在までの表現活動の中で取り組んできており、自分たちが作成した作品に関する鑑賞は行ってきた。しかし有名な画家の作品に関しては触れる機会が少なく、知らない作品も多いため美術館で開催している企画を通じてプロが描いた作品に触れる機会を設定した。今回は絵画を通して、見て「面白い」や「きれい」という感情だけではなく、絵画から連想されるストーリーや描かれている人の感情などを考え、想像してみるなど絵画作品鑑賞の視点や楽しみ方を学ぶことで、美術作品への興味・関心を広げていきたいと考え今回の単元を設定した。

3 単元目標

知識・技能	★	作品を見るとき視点の身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力等	◆	絵画に描かれたものに対して、気付いたり、自分なりの見方や感じ方をしたりすることができる。
学びに向かう力・人間性等	●	絵画に興味を持ち、主体的にいろんな作品を知ろうとすることができる。

4 単元計画（計10時間）

日時／時数		学習内容、活動	指導の観点
1	10月17日（木）	2 ・オリエンテーション ・アートカードで鑑賞をしよう	★
2	10月31日（木）	2 ・アートカードで鑑賞をしよう オンラインアート教室（帯広美術館との鑑賞）	★ ●
3	11月14日（木）	2 ・アートカードで鑑賞をしよう（アートカードカルタ）その他 ・ オンライン美術館「HASARD」 気になる作品、好きな作品をチェックする	◆ ●
4	12月5日（木）	2 ・自分の作品を振り返る ・友達の作品を見る	◆ ●
5	12月19日（木）	2 ・単元の振り返り ・まとめ	

5 個別の単元目標

児童生徒名	目 標 * 個別の指導計画を考慮する。	手立て	評 価
UH	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞し、一枚選んで自分の見方や感じ方を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩等、鑑賞する視点を示したワークシートを用意し、選んだアートカードの「どこが気になったのか」「どのように感じたか」をまとめられるようにする。 	
SM	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞し、一枚選んで自分の見方や感じ方を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩等、鑑賞する視点を示したワークシートを用意し、選んだアートカードの「どこが気になったのか」「どのように感じたか」をまとめられるようにする。 	
MK	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞して一枚選び、自分の好きな形や色彩に関連した作品を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな形や色彩を書き込むワークシートを用意する。 様々な形や色彩の一覧表を用意し、選べるようにする。 アートカードから自分の好みに関連した作品を教師と一緒に選ぶ。 	
MM	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞して一枚選び、その作品から感じたことを発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな形や色彩を書き込むワークシートを用意する。 形や色彩等、鑑賞する視点を示したワークシートを用意し、選んだアートカードの「どこが気になったのか」「どのように感じたか」をまとめられるようにする。 	
SH	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞して一枚選び、自分の好きな形や色彩に関連した作品を選び、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな形や色彩を書き込むワークシートを用意する。 様々な形や色彩の一覧表を用意し、選べるようにする。 アートカードから自分の好みに関連した作品を教師と一緒に選ぶ。 	
SA	<ul style="list-style-type: none"> 複数のアートカードの中から自分が好きな作品を選び、その理由を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は2枚のカードから自分の好きな作品を選ぶ。徐々にカードの枚数を増やし、理由を付けて選択する学習を行う。 自分が選んだアートカードのどこが好きかをワークシートに記入し、発表する時間を設ける。 	
SH	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを色彩に注目しながら鑑賞し、好きな作品を選んで発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな形や色彩を書き込むワークシートを用意する。 様々な形や色彩の一覧表を用意し、選べるようにする。 アートカードから自分の好みに関連した作品を教師と一緒に選ぶ。 	
MS	<ul style="list-style-type: none"> アートカードを形や色彩に注目しながら鑑賞し、好きな作品を選んで自分なりの感想をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術館職員によるオンライン講義を受けることで、生徒の興味関心を惹きだす。 形や色彩等、鑑賞する視点を示したワークシートを用意し、好きな作品の理由を書き込むことができるようにする。 	

※個別計転記

6 単元の評価

- 単元目標の評価（目標に対する児童生徒の学習状況や達成状況）
 - ★作品を見る視点を身に付けることができる。
 - ◆絵画に描かれたものに対して、気付いたり、自分なりの見方や感じ方をしたりすることができる。
 - 絵画に興味を持ち、主体的にいろんな作品を知ろうとすることができる。
- 単元の学習内容や学習活動（目標の評価を踏まえて、学習内容や活動はどうだったか）
- 単元の時数や学習集団等（目標達成や学習内容の習得、育成にどうだったか）
- その他（次の単元や次年度指導する際に参考になることなど）

高等部「美術」 学習指導略案

1. 単元名 『名画作品鑑賞』

2. 本時の展開

学部・学年	高等部 全学年	日時	令和6年10月17日(木) 10:35~12:15
授業者	M(T1) Y(T2) A(T3)	場所	作業室
本時の目標	【知】 絵画を見るときポイントを知ることができる		
	【思】 アートカードに描かれている人にどんな印象を受けたか答えることができる		
	【主】 アートカードを見てテーマに沿って選ぶなど主体的に参加することができる		
時程	学習内容、学習活動	指導の手立て、留意点	
10:35	作業室に集合 (1) はじめのあいさつ	P Pで説明	
10:36	(2) 今日のやることの確認 1. オリエンテーション 2. 鑑賞とは 3. アートカードを鑑賞してみよう 4. 次回の学習の確認 5. 終わりの挨拶		
10:40	(3) オリエンテーション ・日程を確認する ・鑑賞をすることを知らせる		
10:45	(4) 鑑賞とは 1. 鑑賞とは何か知る 2. 見るポイントを知る		
11:00	(5) アートカードを鑑賞してみよう 1. アートカードとは何か知る 2. アートカードを使うときの約束を確認する 3. アートカードを順番に見てみよう(好きな作品を一つ選ぼう) 4. アートカードを選ぼう(怒っている、悲しんでいる、なんて言っているなどテーマを提示する)		
11:50	(7) 後片付け (8) 次回の学習の確認	・ワークシートの配布 ・どんな表情をしているか、目や眉毛、口元など描かれている表情に着目するよう促す	
12:10	(9) おわりのあいさつ	片付けの開始、次回の授業の説明、あいさつをする。	

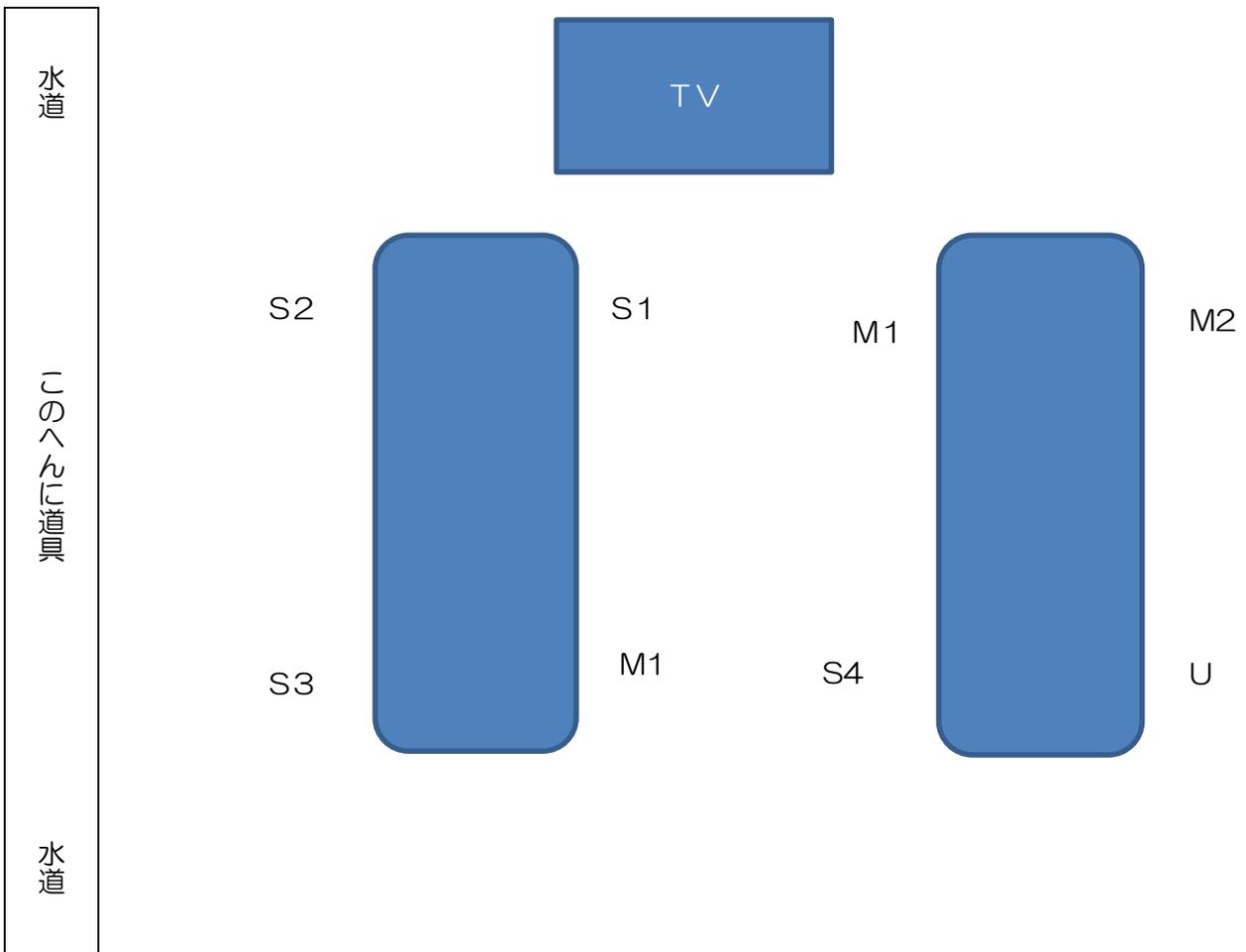
3. 本時の個別目標

※評価：◎/達成 ○/ほぼできた △/やや不十分 ×/できなかった

児童生徒名	上段：目標/下段：評価	評価
UH	描かれた人の表情がどんな表情か答えることができる。 悲しいのか怒っているのか境目がよく分かっていない??あやしい	○△
SM	カードを選び、どんなところが好きなのか答えることができる	◎
MM	① アートカードを見て、気に入ったカードを1枚選ぶことができる ② 好きな部分を答えることができる 2に関しては難しい	○
MK	怒った表情、悲しい表情などのテーマに合わせて、カードを選ぶことができる 悲しいは見とれていない?	○
SH	描かれた人がどんなことを言っているのか、想像することができる	◎
SA	描かれた人の表情からどんな感情か想像することができる イラストからなんて言っているのかは大喜利少しふざけていたが答えてはいた。	◎
SH	選んだアートカードのどの部分が気に入ったのか答えることができる 色や、繊細な表現の仕方(筆使い)について部分的に良いといていた。	◎
MS	描かれた人がどんなことを言っているのか想像することができる 自分なりにストーリーも想像できていた。どうしてそう言っているのかなど。	◎

4. 学習配置図

- 作業室と教育相談室のパーティションを撤去して使用する。



高等部「美術」 学習指導略案

1. 単元名 『絵画名作鑑賞』

2. 本時の展開

学部・学年	高等部 全学年	日時	令和6年10月31日(木) 10:35~12:15
授業者	M(T1) Y(T2) A(T3)	場所	作業室
本時の目標	【知】		
	【思】アートカードを鑑賞して、テーマに合わせたカードを選択することができる。		
	【主】		
時程	学習内容、学習活動	指導の手立て、留意点	
10:35	作業室に集合 (1) はじめのあいさつ	事前に iPad の接続を行う	
10:36	(2) 今日のやることの確認 6. 今回の学習内容の確認 7. 帯広美術館学芸員のオンラインアート教室 8. まとめ 9. 終わりの挨拶	PPで説明	
10:40	(3) 今回の学習内容の確認 ・日程を確認する ・今日の学習の確認 【目標】 「どんな絵か考えたり、気付いたりする」	・PPで説明	
10:45	(4) 帯広美術館学芸員とのオンラインアート教室 ・話を聞きながら鑑賞を行う。 ① 好きな絵を選ぶ ② 選んだ絵はどんな色が使われているかなるべく多く答える ③ 選んだ絵はどんな物が描かれているかなるべく多く答える ④ 人が描かれたカードを選び、なんと言っているのか考えてみる ⑤ 選んだ作品の好きなところ良いと思ったところを答える。	・TVモニターに注目するよう促す。 ・カードを配付する	
12:10	(5) まとめ 「どんな絵か考えたり、気付いたりすることができたか」 ・今日学習したことの確認 ・お礼を伝える。	・ワークシートの配布 ・ワークシートに記載したことを示しながら自己評価する	
12:10	(6) おわりのあいさつ	・生徒を指名する。	

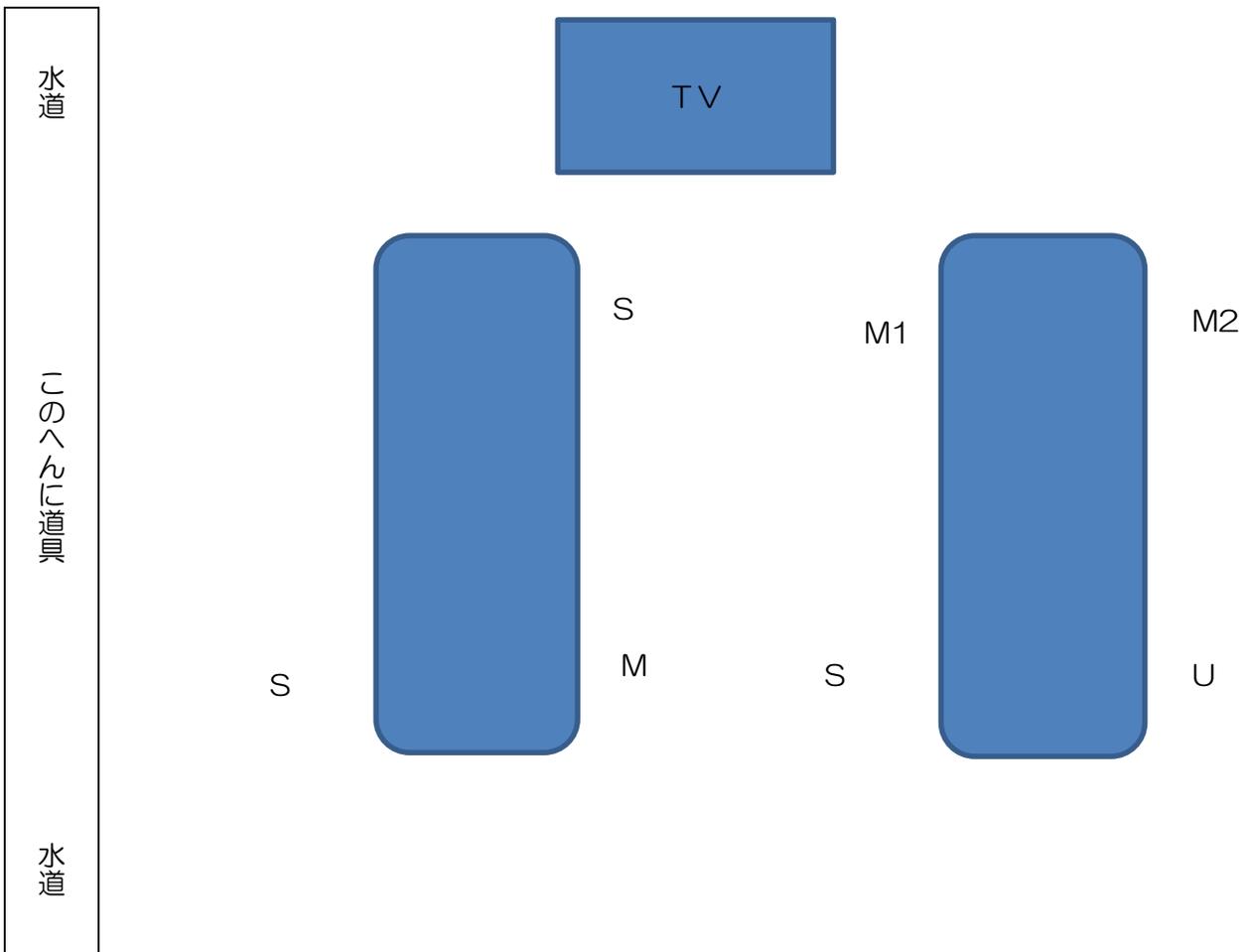
3. 本時の個別目標

※評価：◎/達成 ○/ほぼできた △/やや不十分 ×/できなかった

児童生徒名	上段：目標/下段：評価	評価
UH	選んだアートカードから使われている色や描かれているものを答えることができる。	
SM	作品に描かれているものに気付いたり、想像したりすることができる。	
MM	選んだ絵にどのようなものが描かれているのか気付くことができる。	
MK	選んだアートカードには、どんな色があるのか答えることができる。	
SH	アートカードを見て人の表情に気付いたり、どんな印象を受けたのかを答えたりすることができる。	
SA	アートカードを見て暗い、明るい、「〇〇みたい」など自分が受けた印象を答えることができる。	
SH	決められたテーマに合わせてアートカードを選ぶことができる	
MS	あるテーマからアートカードを選び、選んだ理由を答えることができる。	

4. 学習配置図

- 作業室と教育相談室のパーティションを撤去して使用する。



高等部「美術」 学習指導略案

1. 単元名 『名画作品鑑賞』

2. 本時の展開

学部・学年	高等部 全学年	日時	令和6年11月19日(木) 10:35~12:15
授業者	M(T1) Y(T2) A(T3)	場所	作業室
本時の目標	【知】		
	【思】 テーマに合ったアートカードを選択することができる		
	【主】 説明を聞きながら、主体的に学習に参加することができる		
時程	学習内容、学習活動	指導の手立て、留意点	
10:35 10:36	作業室に集合 (1) はじめのあいさつ (2) 今日のやることの確認 10. 前回の学習の確認 11. 今回の学習内容の確認 12. アートカードカルタ 13. オンライン美術館をしてみよう 14. 終わりの挨拶 (2) 前回の学習の確認 ・前はオンラインアート教室でアートカードを使用したことを知る。	PPで説明 ・PPで説明。	
10:40	(3) 今回の学習内容の確認 ・日程を確認する ・今日の学習の確認	・PPで説明	
10:45	(4) アートカードカルタ ・形、色など教師が指定したお題に沿ったアートカードを選ぶ。 ・2グループに分かれる	・1回戦目座席の通り4人1グループで分かれる ・2回戦目は各2位までで1グループを作る。	
10分	休憩		
11:30	(5) オンライン美術館鑑賞 ・iPadを使ってオンライン美術館を鑑賞する。 ・好きな作品をスクリーンショットして、1枚発表しよう	・HASARDのサイトを使用する ・ワークシートの配付 ・発表時、一人ずつ前に出ることを伝える ・配付したワークシートを見ながら話すよう伝える	
	(7) まとめ	・どんな学習を行ったか問いかける ・考えたり、気付いたりすることができたか問いかける	
12:10	(6) おわりのあいさつ	・生徒を指名する。	

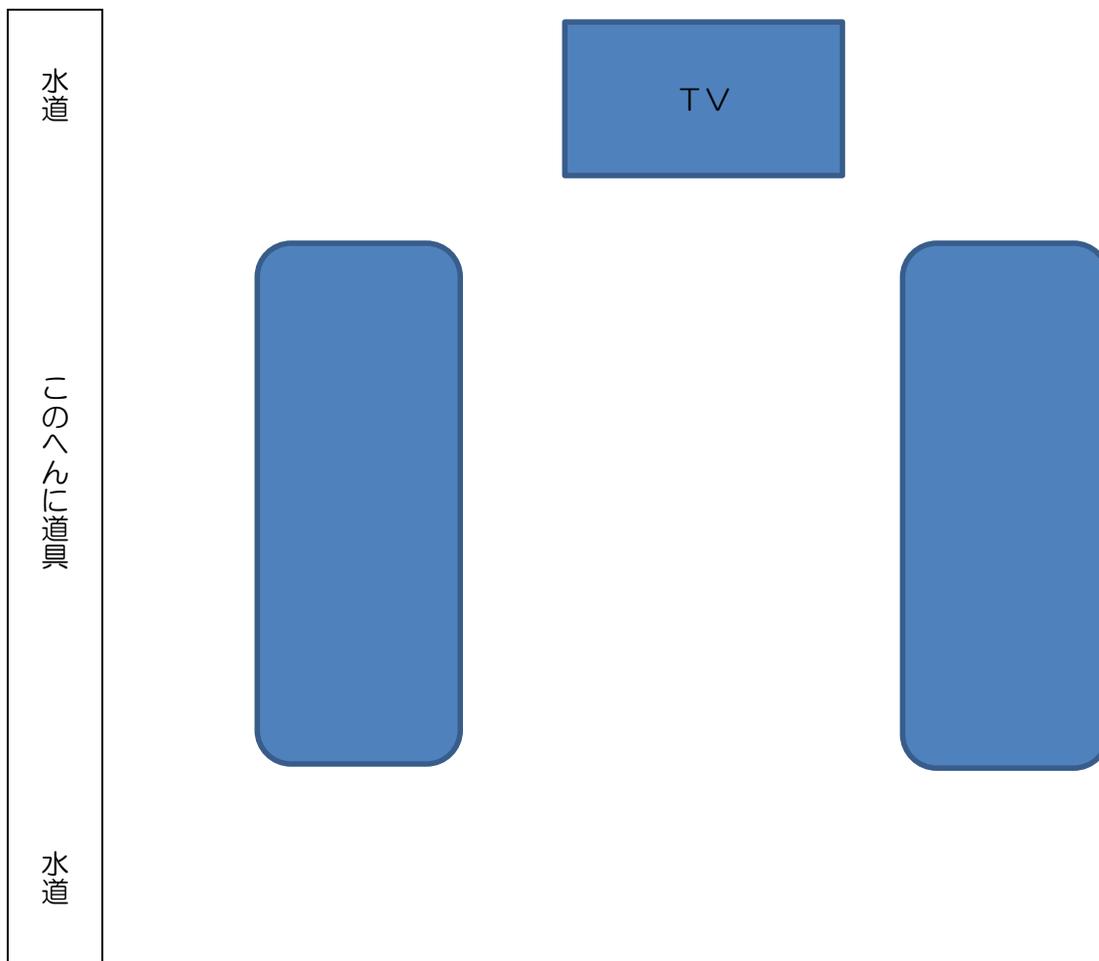
3. 本時の個別目標

※評価：◎／達成 ○／ほぼできた △／やや不十分 ×／できなかった

児童生徒名	上段：目標／下段：評価	評価
UH	・オンライン美術館の作品の中から、気になった作品や見たことのある作品などを選ぶことができる	◎
SM	・選んだ有名作品の好きなおところについて理由を考えることができる 好きなおところではなく、気になったところだった。	○
MM	・色や形など教師から出されたテーマに沿ってカードを選ぶことができる	◎
MK	・作品を見て自分なりの感想を持つことができる どれを見ても「赤い、黒い」など、色を指し示すことが多かった。見たままのことを言う	△
SH	・オンライン美術館での作品の中から好きなカードを選ぶことができる	◎
SA	・作品から受けた印象を答えることができる 見たことがあるとのこと、モナリザ「ピジューン」	○
SH	・選んだ作品の良さを発表することができる	○
MS	・選んだ有名作品の好きなおところや気になった部分について自分なりの理由を発表することができる	◎

4. 学習配置図

- ・作業室と教育相談室のパーティションを撤去して使用する。



アートカード鑑賞ワークシート

名前

① 好きな作品をえらぼう！

～解説～生徒はアートカードの左下に書かれた作品番号を記入する

すきなところは？【生徒のメモ】

(立体作品の写真) いしのところ。・雪の屋根・まるいところがすき。

はいけいがパープルのところ。

② 怒っている作品をえらぼう！

～解説～生徒はアートカードの左下に書かれた作品番号を記入する

どんなところが怒っている？【生徒のメモ】

・め おこってる。・かおがおこってる。・へんがお。

・かおがおこっているところ

③ 悲しい作品をえらぼう！

～解説～生徒はアートカードの左下に書かれた作品番号を記入する

どんなところが悲しいと思う？【生徒のメモ】

・さみしい顔のところ。・落ち込んでることが悲しいと思いました。・泣いてる

ところが悲しいです。・湧別、芭露川みたい。・感情が悲しいところ。

アートカードは 61 種類

帯広美術館に展示されている作品をカードにして生徒分のセットを貸し出して
てくれている。立体作品の写真も含む（一部添付）

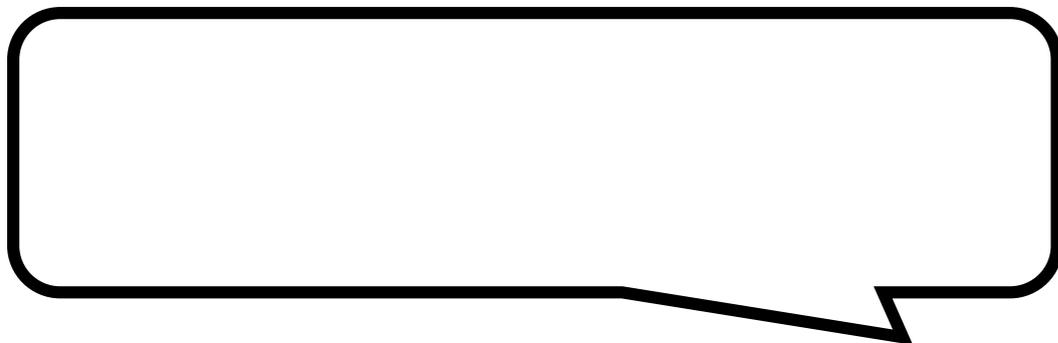
※生徒が選んだカードはこの他にもあり。



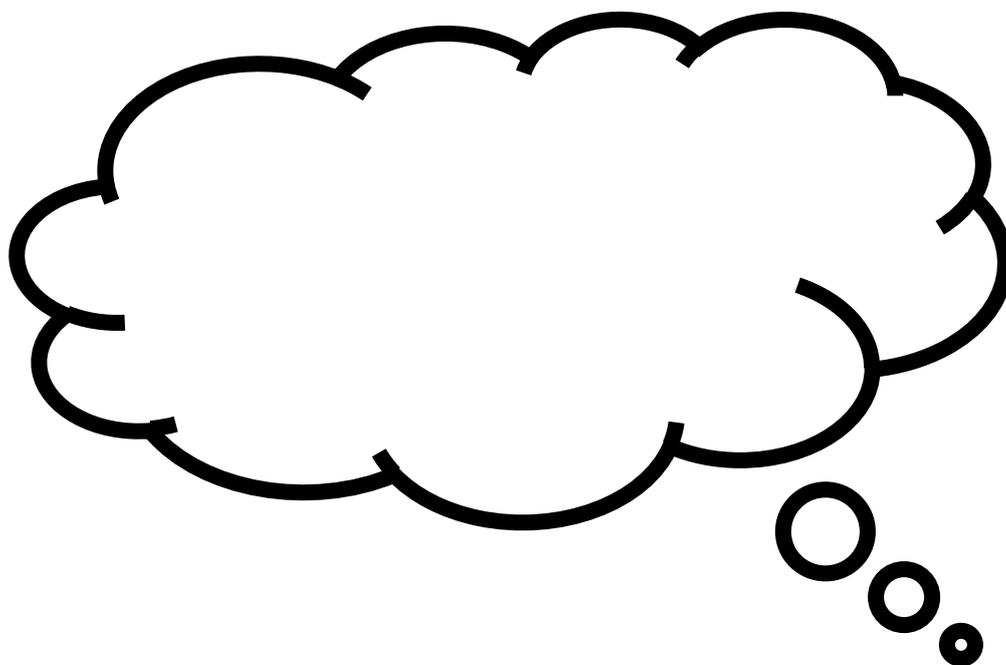
写真

鑑賞ワークシート

なんていっている？

A large, empty speech bubble outline with a tail pointing to the right, intended for writing an answer to the question above.

どんなことをかんがえている？

A large, empty thought bubble outline with a tail pointing to the bottom right, intended for writing an answer to the question above.

かん しょう
鑑賞

10月17日(木)美術鑑賞①

1 はじめのあいさつ

2 今日のやることのかくにん

3 オリエンテーション

4 ^{かんしょう}鑑賞とは

5 アートカードを^{かんしょう}鑑賞してみよう

6 じかいのがくしゅうのかくにん

7 おわりのあいさつ

きょうのやることのかくにん



きょうのやること

① オリエンテーション

かんしょう

② 鑑賞とは

③ アートカードを鑑賞しよう

3 オリエンテーション

4 ^{かんしょう}鑑賞とは

5 アートカードを^{かんしょう}鑑賞してみよう

6 じかいのがくしゅうのかくにん

7 おわりのあいさつ

3 オリエンテーション

こんかいは かんしょうを します



あとで 説明します

^{たんげん}
この単元でまなぶことは

^{さくひん}
たくさん^の作品^をみる!

^す好きな^{さくひん}作品^をみ^みつける!

^{さくひん}作品^の「いいところ」^を^{はっぴょう}発表する

^{じぶん}自分の^{つく}作った^{さくひん}作品^のいいところ、がんばったところを
はっぴょうする



きょう 今日まなぶことは

たくさんさくひんの作品をみる!



すさくひん好きな作品をみを見つける!



さくひん作品の「いいところ」をはっぴょう発表する



じぶん自分のつく作ったさくひん作品のいいところ、がんばったところを
はっぴょうする



9 日 月 火 水 木 金 土
2024 1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

2024 10 月

11 日 月 火 水 木 金 土
2024 1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 <small>スポーツの日</small>	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31 オンライン 授業	1	2

10 日 月 火 水 木 金 土
2024 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

2024 11 月

12 日 月 火 水 木 金 土
2024 1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30

11 日 月 火 水 木 金 土
2024 3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30

2024 12 月

1 日 月 火 水 木 金 土
2025 5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	ごうけい かい 合計5回あります!			

4 ^{かんしょう}鑑賞とは

5 アートカードを^{かんしょう}鑑賞してみよう

6 じかいのがくしゅうのかくにん

7 おわりのあいさつ

かんしょう
4 鑑賞とは

かんしょうってなんだろう



「かんしょう」ってなんだろう・・・？

み
見ること

みるだけではない！

み かんが たいせつ
見て考えることが大切！



どんなふうに見ればいいかな？

この花はみんな
かたちだな

黄色がすきな
かな

花の絵

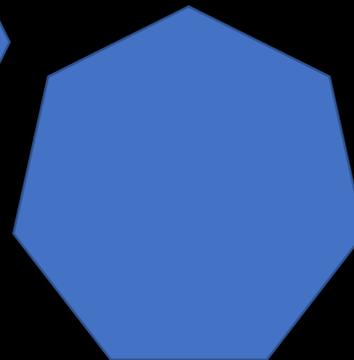
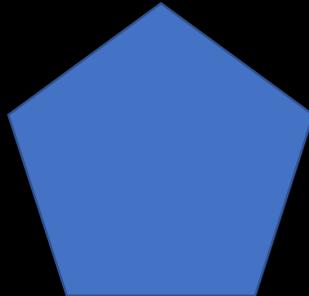
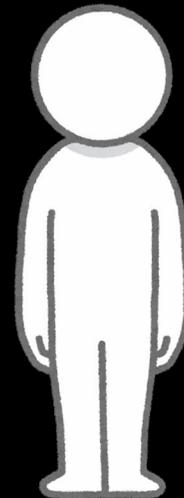
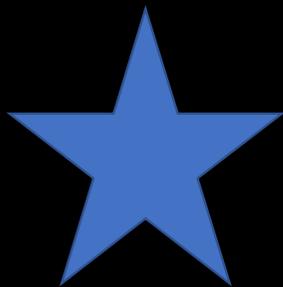
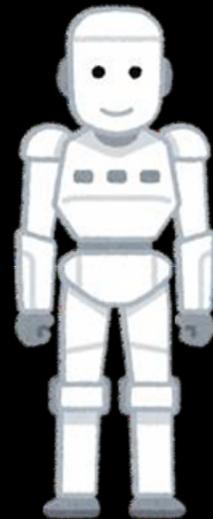
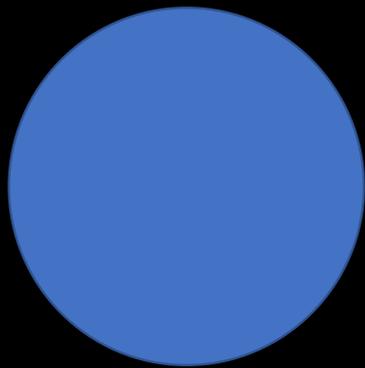
みずいろとし
いろが 青空み
で好きだな

カラフルだな

どんな「いろ」が使われているか



どんな「形」をしているか



えをみて なにをしているか^{そうぞう}想像してみる

季節はいつかな
何を拾っているかな



このひとは
かなしい？
うれしい？

絵

絵

絵

絵

なんで
みみをおさえて
いるのかな



何の花かな
どんなところにか
ざっているかな

5 アートカードを鑑賞^{かんしょう}してみよう

6 じかいのがくしゅうのかくにん

7 おわりのあいさつ

5 アートカードを鑑賞してみよう

アートカードとは？

絵

ほっかいどう びじゅかん さくひん
北海道の美術館にある作品が
かかれています。

アートカードを^{つか}使うときの^{やくそく}約束

やぶかない



なくさない



よごさない



アートカードを^{つか}使うときの^{やくそく}約束



このアートカードは^{びじゅつかん}美術館から^か借りています。

なくしたり、^{たいへん}やぶったりすると大変です。

^{やくそく}約束を^ま守れない人は^{ひと}今後^{こんご}使^{つか}えないです。

かんしょう
アートカードをつかって鑑賞しよう

ぜんぶのカードをみてみよう!



す
好きなカードを1枚えらぼう



^す好きなカードを1枚^{まい}えらんだら

ワークシートにかこう



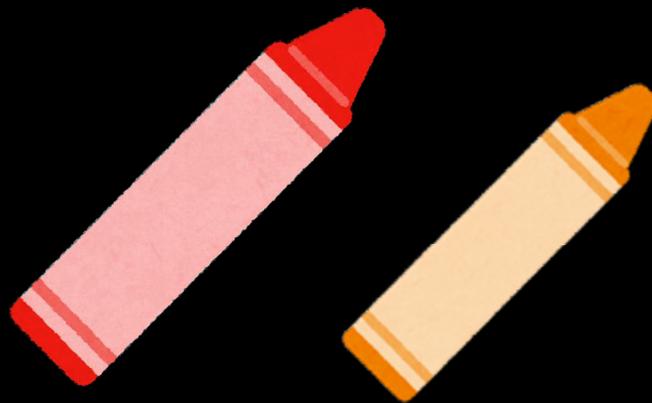
アートカードをみて作品^{さくひん}をえらぼう!

おこ ^{さくひん}
怒っている作品をえらぼう!

ひょうじょう
表情



あかいろ
赤色・オレンジなど



うご
動き



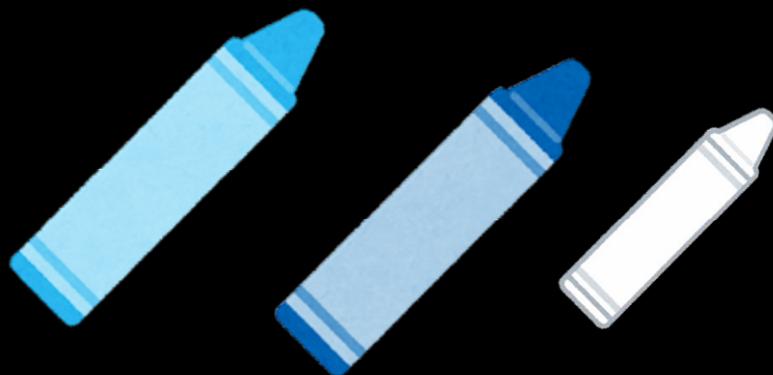
アートカードをみて作品をえらぼう!
さくひん

かなしそういる作品をえらぼう!
さくひん

ひょうじょう
表情

みずいろ あお いろ
水色・青色など

うご
動き



^{さくひん}
この作品はなんていっている？
おもっている？

絵

A large white rounded rectangular area with a green border, containing three horizontal black lines, serving as a space for a response.

6 じかいのがくしゅうのかくにん

7 おわりのあいさつ

6 じかいのがくしゅうのかくにん

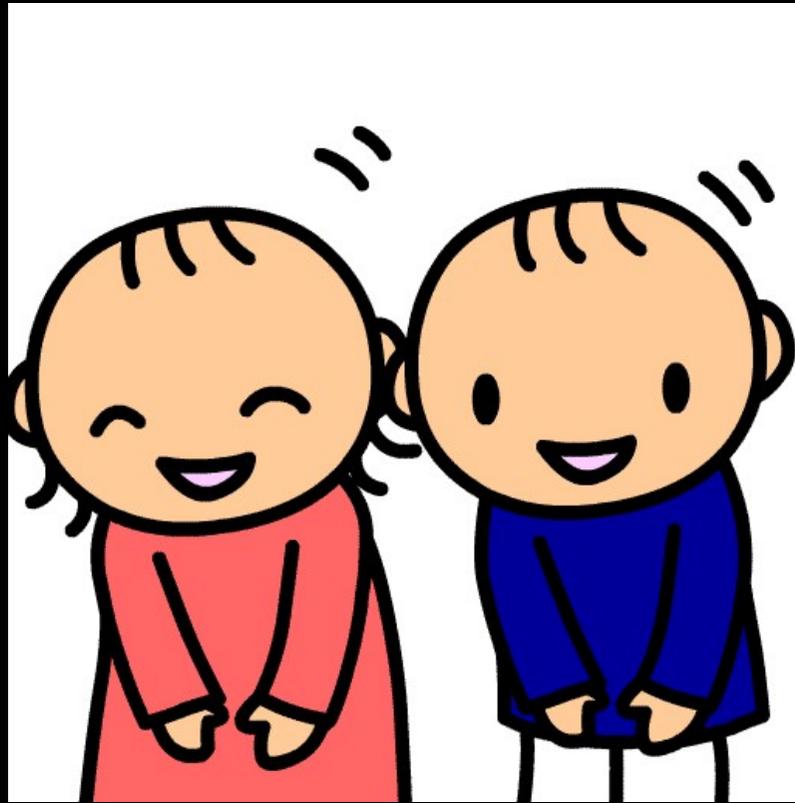
アートカードをつかって

おびひろ びじゅつかん ひと じゅぎょう
帯広美術館の人がオンライン授業を
してくれます。



7 おわりのあいさつ

7 あいさつ



「一人一台端末を使った学習の授業改善」

当初の設定は生活単元学習で地域の方との交流を予定していたが、学校側と地域の方との都合上、やむなく中止となったが、次年度年間指導計画に組み込んで再挑戦できればと思っている。※当初の計画・・・タブレット端末自体の使い方として、Zoom を活用した地域の方と地域について調べる学習を計画していた。

生活単元学習の計画が中止になり、なやんでいたところ、案内の回覧に入っていた北海道立美術館（帯広美術館）の企画【鑑賞学習支援ツール】でアートカードを使った鑑賞教室があったので申し込みを行った。また、ネット上の美術作品鑑賞サイトがあったのでそれと併用した。生活単元学習→美術への柔軟な切り替えを行った。

【内容】

- ・アートカード（美術館に展示されている作品）64枚を使った鑑賞
- ・Zoom を活用して学芸員とのやり取りをしながら美術鑑賞を楽しむもの。
- ・「えらぶ、あつめる、くらべる、かんがえる、あそぶ、まなぶ」がコンセプト
- ・学芸員との遠隔授業は1回、一人一人が自分のタブレットを見ながら活動できる
- ・芸術作品の鑑賞サイト「HASARD」の活用 ICT活用の学習①
- ・2時間×5回合計10時間の単元

【アートカード使い方】

- ① えらぶ→自分が好きなもの、気になったもの、少し怖い印象のもの
- ② あつめる→同じ色、似たような形、人、風景
- ③ くらべる→副読本の図版や画集との比較、カードとカードをつかって
- ④ 作家になりきって作品名を考える
- ⑤ かんがえる→4点の作品をつなげて4コマの物語をつくる
- ⑥ あそび→印象を言葉に変えていく、二人で、チームで
- ⑦ まなぶ→作家や作品について、北海道美術館のこと、技法のこと、表現のこと

【成果】

- ・タブレット端末を活用して ZOOM でのやり取りができた。
- ・ ZOOM を通して学芸員から出される「お題：質問」に答えながら活動を行うことができた。
- ・普段あまり行わない活動のスタイルで展開され、生徒たちにとって新鮮だったためか興味深く取り組んでいた。
- ・新しいスタイルの学習に生徒たちの食いつきが良かった。
- ・アートを使ったゲーム的活動は「見る」、「考える」、「想像する」「感想を持つ」につながっていたのではないかと
- ・見たことのない絵画や造形作品にふれることができた。
- ・「鑑賞とは何か」ということに対して、追求できた。どんな見方をする。
- ・ ICT をうまく活用できていた。
- ・生活単元学習で考えていたものとは違ったより広がりのある学習となり大きな収穫があった。
- ・美術は作るだけではなく、見る楽しさもあることを再確認できた。
- ・ ICT を使った幅広い授業の展開が可能だと再確認できた。積極的に取り入れることも重要。情報収集が必要。

【課題】

- ・ Zoom 一人 1 台端末で行ったことにより、ハウリングや聞きにくさは多少あった。
- ・ セッティングに時間とパワーが必要。

【実施上の注意点】

- ・学芸員との打ち合わせが必要。先方の都合に合わせて時間を確保する必要がある
- ・他分掌（情報管理部）への応援要請が必要。